

2020年度 実務経験を有する教員等による授業科目一覧

科目コード	科目名	単位数 [※]		担当教員	実務経験	備考
		社福	心理			
CA3105	地域福祉論	4	4	都築 光一	役場職員、社会福祉協議会理事などの実務経験を生かし、地域住民による福祉コミュニティの形成、それに向けた支援活動と地域福祉の展開技法および社会資源の活用方法等について、具体的な事例等を交えて解説する。	
CA4108	公的扶助論	2	2	阿部 裕二	主に家庭の抱える経済格差から生まれる子どもの教育格差の解消を目的とした公益社団法人やNPO法人のアドバイザーとしての経験を生かし、生活困窮(者)の状況と生活保護制度を関連する諸制度にまで視野を広げて講義するとともに、東日本大震災を背景とした生活困窮についても言及する。	
CC2101	福祉社会学	4	4	赤塚 俊治	福祉センターを中心とした福祉の現場での実務経験を生かし、「社会学」の視点から人間社会のあるべき安心・安全な日常生活の実情や現代社会が抱える社会福祉の実態と課題について、事例を交えながら考察する。	
CC2149	福祉心理学	2	2	渡部 純夫	心理的支援の経験と事例をもとに、「心理学」の理論や手法を身につけ人々の福祉に対処できる人材を育成します。	
DD2211	発達障害者の地域支援	1	1	三浦 剛	発達障がい者及びその家族等への相談援助の実務経験をいかし、発達障がい者へのソーシャルワークによる地域生活支援を実践できる人材を育成します。	
FE3548	教育・学校心理学B(学校心理学)	2	2	中村 恵子	スクールカウンセラーの実務経験をいかし、教育臨床での問題について、子ども、家庭、学校環境および援助環境の多面的観点から読み解きます。授業では、豊富な事例を活用し、実践的な問題理解と解決方法を学びます。	
FF3551	司法・犯罪心理学	2	2	半澤 利一	長年、家庭裁判所調査官として非行少年の調査や家庭内紛争の調整に取り組んだ経験を生かし、犯罪・非行とは何か、どう理解して処遇して行くのかを実務家の視点で解説し、犯罪・非行の時代的推移や現代型非行の特徴、捜査や裁判、処遇を担う機関の機能や連携、被害者心理、さらには家庭内紛争についての理解を深めさせる。	
合計単位		17	17			

※ 単位数の記載において、社福は社会福祉学科、心理は福祉心理学科における開講科目の単位を表します。